

米子市少年育成センターだより

令和3年7月発行

米子市少年育成センター

長引くコロナウイルスの影響で、ストレスを感じながら学校生活を送っている子どもたちも少なくありません。家庭で過ごす時間が増え、インターネットにアクセスする機会が増えたことにより、SNS を介して被害にあうケースも後を絶ちません。夏休みをひかえて、子どもが犯罪に巻き込まれないために、学校と家庭、地域が連携しながら、子どもの小さな変化に気づき、被害を未然に防止できるような体制をつくるのが大切です。

最近の米子市内の子どもたちの状況について



自転車のサイズについて

登下校の見守りや交通安全指導をしてくださっている少年指導委員さんから次のような指摘を複数いただきました。

「全般的に言えることだけど、特に中学1年生の自転車の乗り方を見ていると、交差点などで信号待ちをしている時に、自転車にまたがった状態で両足が地面に着いていない子どもが多くいる。

不安定でグラグラしながら停車しているので、もし倒れたら大事故につながると危惧している。」ということでした。

市内の小学校、中学校、高等学校ではサドルを下げる指導や自転車を購入する際にサドルに座った状態で両足が地面に着くサイズのものを選ぶように指導をしています。

また、米子警察署や西部少年サポートセンターの交通安全教室や非行防止教室等でも指導をしていただきました。



ヘルメットについて

最近ヘルメットをかぶり自転車に乗っている高校生の姿をよく見かけます。新鮮であると同時に好印象を感じます。

県では「鳥取県支え愛交通安全条例」で県民みんなが自転車に乗る時にはヘルメットをかぶることとされています。自分の命は自分で守るという意識が大切です。あわせて、自転車が加害者になる事故が増えており、損害賠償責任保険等に加入することを奨励しています。



自転車の並進について

「下校時に細い道で並進をしている生徒がおり、車や歩行者の進路妨害になる。」との指摘をいただくことがあります。中学生が多いようですが、学校で指導をしてもらっています。自分の行為が他人の迷惑にならないように気をつけましょう。



SNS について

鳥取県青少年健全育成条例が令和3年から以下のとおり一部変更になりました。

- 何人も正当な事由がある場合を除き、青少年に対して裸や下着などの性的な画像を要求する行為を禁止。
- 有害図書類（本、雑誌、ソフトなどのうち、性的なもの、暴力的なものなど）、有害玩具刃物類（バタフライナイフやポーガンなど）の青少年への販売や貸し付けが、対面、通販、インターネットの手段を問わず禁止されることを明示。

最近全国的に性的な画像を要求されて送ってしまうケースが増えています。SNS上に送られた画像は削除することがとても難しくなります。

これから夏休みをひかえて家でSNSやインターネットを使う機会が増えると思います。条例を踏まえた上で、お子さんの小さな変化を見逃さないように見守ることが大切です。もし、画像等を要求されたら、きっぱりと断る勇気をもたせてあげてください。心配なことがあれば、すぐに学校や西部少年サポートセンター、米子警察署生活安全課に相談をしましょう



万引き防止

最近、低年齢層の万引きが増加しているようです。中には集団で常習化するケースもあるようです。万引きは犯罪です。早く発見して適切な指導をおこない、反省を促し、再発を防止することが重要です。家庭の協力が大切です。



不審者情報

少年育成センターに入った令和3年4月から6月までの米子市内で発生した不審者事案は次の通りです。

【声かけ】11件、【写真撮影】6件、【つきまとい】2件、【変質的行為】2件、
【暴力的行為】0件 **合計 21件**

昨年同時期と比較して少し増えています。不審者に遭遇した時は自分の身を守る行動に徹することが大切です。普段から不審者に遭遇した場合を想定した訓練や意識付けをしておくことが重要です。

※米子市内の不審者情報については、米子市のホームページ⇒少年育成センターに毎月更新しています。

い か の お す し を教えましょう

- い か → 知らない人にはついて **い**かない
- の → 知らない人の車に **の**らない
- お → 「たすけて！」と **お**おこえをだす
- す → こわいことがあったら **す**ぐにけよう
- し → どんなことがあったのか保護者や先生に **し**らせる



少年指導委員

米子市では218名の少年指導委員のみなさんに児童青少年の健全育成に携わっていただいております。その中で特に地域で子どもの見守りをしていただいている方が約150名おられますが、コロナ禍でなかなか思うように子どもと接することが出来ずに困っておられます。見かけたら声をかけていただくとうれしく思います。